

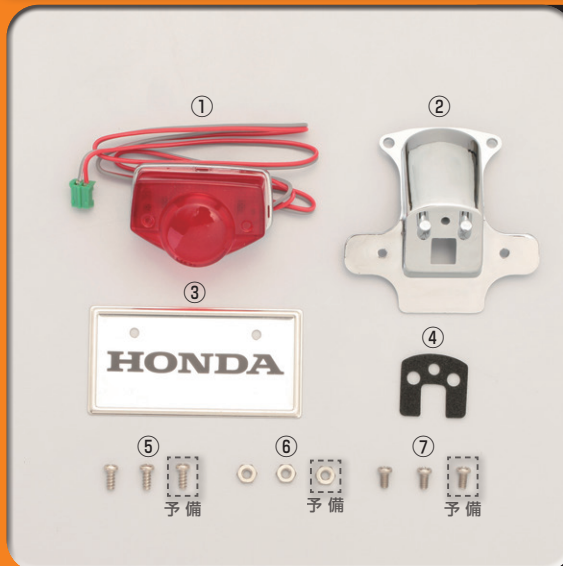
今号の作業

テールライトを取り付ける



今号では、組み立て済みのテールライトをバックプレートに取り付け、さらに34号で組み立てたリヤフェンダーへ取り付ける。テールライト内部には電飾ギミック用のLEDが組み込まれているが、コードを強く引くと断線する恐れがあるので注意しよう。

今号のパーツ



- ①テールライト×1
(※組み立て済み)
- ②ナンバープレートブラケット×1
- ③ナンバープレート×1
- ④ナンバープレートバックプレート×1
- ⑤ビス(Oタイプ)×3
(※1本は予備)
- ⑥2mmナット×3
(※1本は予備)
- ⑦ビス(Xタイプ)×3
(※1本は予備)

※「③ナンバープレート」の外縁部は鋭利な状態になっています。作業中の怪我を防止するためにも、十分注意して取り扱ってください。

使用する道具

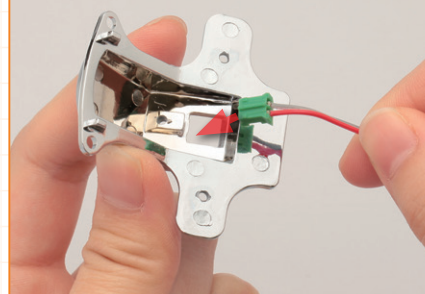
- ・+(プラス)ドライバー(1番)
- ・クロスレンチ(9号で提供したもの)

※モデルの設計上、パーツの形状が実車とは異なる場合があります。
※「組み立てガイド」で紹介しているパーツは実際に付属するパーツと一部仕様異なる場合があります。

用意するもの

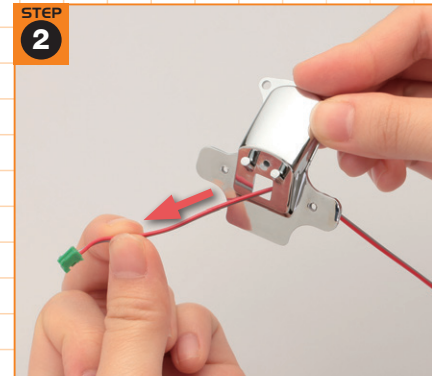
- ・リヤフェンダー(34号で組み立てたもの)
- ・ビス(Oタイプ)×1(34号で提供したもの)

STEP
1



①テールライトから出ているコード端のコネクターを、②ナンバープレートブラケットの四角い開口部へ写真の側から差し込む。

STEP
2



写真のように、コードをブラケット裏側へ引き出し、コードでつながったテールライトをたぐり寄せておく。

STEP
3



ブラケット上部の両サイドにある突起を、テールライト背面の両サイドに設けられた穴に差し込む。この時、コードが間にはさまらないように注意。

STEP
4



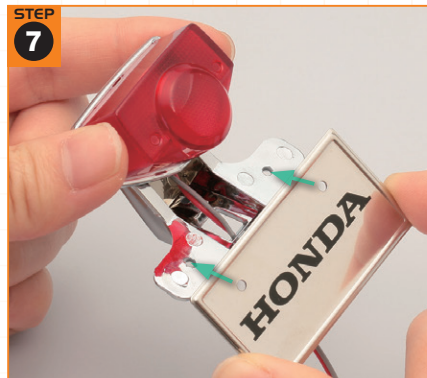
テールライトとブラケット上部をしっかりとめ込む。なお、テールライトのレンズ部(赤い部分)に無理な力を加えると、レンズが外れてしまう場合があるので注意しよう。



⑤ビス(Oタイプ)を用意し、ブラケット右側のビス穴へセットする。



1番の+(プラス)ドライバーを使い、Oタイプのビスを真っすぐにねじ込む。左側のビス穴も、同様にOタイプのビスをねじ込み、テールライトをブラケットに固定する。



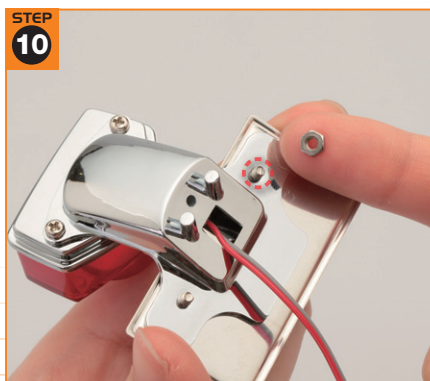
③ナンバープレートを用意し、ブラケット下部の取り付け位置にセットする。ナンバープレートの外縁部は鋭利な状態なので、怪我をしないよう注意しよう。



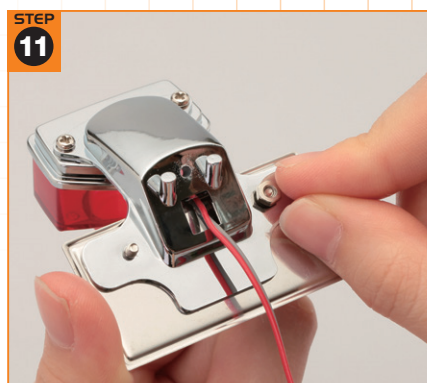
ナンバープレートとブラケットのビス穴位置を重ね合わせ、⑦ビス(Xタイプ)を右のビス穴にセットする。



1番の+(プラス)ドライバーを使い、Xタイプのビスを真っ直ぐにねじ込む。ビスのアタマがナンバープレートの表面に当たったら、ねじ込むのをやめる。



ブラケットを裏返して持ち、突き出したビス(Xタイプ)の先端に、⑥2mmナットをセットする。



指先で2mmナットを右に回し、ねじ込めるところまでナットをねじ込む。



クロスレンチの“軸部分に段差のある6角穴”を使い、2mmナットを締め込む。もう片方のビス穴も、⑧～⑫の手順に従ってXタイプのビスを2mmナットで固定する。

STEP
13



④ナンバープレートバックプレートを用意し、ブラケット裏側・下部にセットする。バックプレートに表裏の指定はないので、写真を参照して取り付けよう。

STEP
14



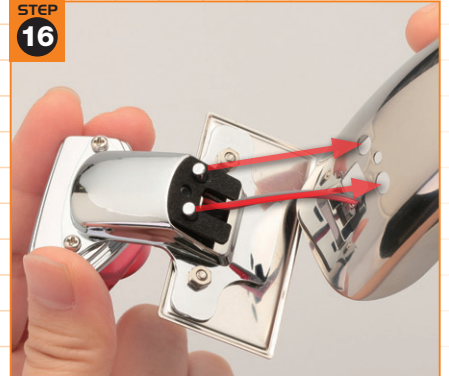
34号で組み立てたリヤフェンダーを用意し、コード先端のコネクターをフェンダー後端の四角い開口部に差し込む。

STEP
15



コードをゆっくりと引き、リヤフェンダー裏側へ伸ばしておく。

STEP
16



セットしたバックプレートが落ちないように注意しながら、ブラケット下部・裏側のピンをリヤフェンダーの穴に差し込む。

STEP
17



リヤフェンダーに対し、ブラケットを真っ直ぐに押し込んで保持する。

STEP
18



ブラケットを保持したままリヤフェンダーを裏返し、写真に示したビス穴へ34号で提供したOタイプのビスをセットする。

STEP
19



1番の+(プラス)ドライバーを使い、Oタイプのビスを真っ直ぐにねじ込む。カー杯にねじこむのではなく、ブラケットがガタガタ動かず、なおかつバックプレート中央部が潰れない程度にねじ込めばOKだ。

今号の完成



これで今回の作業は完了だ。伸びたコードを強く引くと断線してしまう恐れがあるので、軽くまとめておくといいだろう。また、金属製パーツやメッキパーツに付着した指紋などは、そのまま放置すると落としにくくなるのでこまめに拭き取り、組み立てたパーツは次回の作業に備えて大切に保管しよう。